

奈良・人と自然の会



1月例会：奈良公園自然観察会と講演会

須崎 公代

幾度も訪ねている奈良公園ですが、冬の奈良は始めてです。冬の公園での景色は、期待通りに美しく、浮御堂の鷺池には薄氷がキラキラとする輝きに感動しました。午前中の観察会では南円堂近くの松に半寄生するマツグミ、根っこの芸術家のケヤキ、虚のクスノキ、ナギの純林、イズセンリョウ、アセビ、イチイガシの巨木、など42種位を確認。

講座生時の授業などを思い出しながらの散策でした。お昼は、国立博物館前で鹿と戯れながらの(?)昼食でした。

午後の河野先生の講演「繊細な地球と環境問題」では、

① 太陽と地球の距離1万5000km。② 温室効果により平均気温を15℃に保っている地球。③ 大気が 窒素78% 酸素21% 二酸化炭素0.03~0.04%の割合に保たれている。④ オゾン層。

ことなど地球を取り巻く微妙な環境が46億年の時をかけて生物に適した調和を持つ「繊細な地球」が造られてきた。

しかし、産業革命以降200年くらいの間に、化石燃料、森林伐採、などの乱開発により氷河の後退積雪面積の減少、地球乾燥化、集中豪雨などの増加と地球の調和を崩している。など貴重なお話を伺いました。

追記 観察会と講演会 以外に 私が思ったこと

- 1 観察会の最後に見た シリブカガシ、マテバシイ、タブノキ の葉は とてもよく似ていると思います、機会があれば揃えて観察しましょう。
- 2 二酸化炭素0.03~4%しか大気の中に含まれていないのに植物はどのように選んで取り入れているのか?と疑問に思い調べてみました。気体の不思議の性質(2つの濃度の異なる気体が接したとき、濃いものが薄いものと同じ濃度になろうとする性質がある。)により植物は光合成に二酸化炭素をドンドン使えば気孔の中の濃度は外より常に低い状態になるので「二酸化炭素が、葉の中に流れ込んでくる。」

中公新書 田中 修著 「ふしぎの植物」より



2月例会；『野鳥観察』日記

小森 清道

少し冷たい風が“春未だ浅し”を感じさせる日和でしたが、既に“春一番”の洗礼を受けた心身には余裕があり、むしろこの季節を好む冬鳥達がたくさん我々を出迎えてくれる事を予感させました。

総勢27名、リーダーの長野さんに引率され“観察マップ”片手に、他の手には望遠鏡が乗った三脚や首に掛けた双眼鏡を握り締めて出発。当日の期待の一番鳥はアオバトでした。

アオバトはハト目ハト科で他のハト同様、虫を餌に子育てする他の小鳥と違って植物性の餌だけで(いわゆる「ピジョンミルク」で)子育てする由、また漢字では『緑鳩』と書き、声が尺八の音に似て哀調を帯びている事から「尺八鳩」とも呼ばれるとか・・・。

出発程なく期待の二番鳥、レンジャク達の歓迎を受けたのは感激でした。ヤドリギが密生する大木にヒレンジャクにキレンジャクも混ざり総数30羽余り、やや逆光ながらその尾先の緋色や黄色が鮮やかに透けて見え、チリチリという鈴のような鳴き声も賑やかでした。その内に、数羽のお尻からあのネバ〜ウ〇チが・・・。

ヤドリギに群がるレンジャク達、そして垂れフン、“これぞ風物詩”を堪能しました。

大仏池ではアオサギ、コサギそれにカイツブリなど水辺の鳥を観察しつつ大仏殿の裏に廻り愈々アオバト街道へ。しかしなかなか姿を見せてくれません。通りすがりの初老のご婦人が「もう少し早い時間にアオバトを見ました」と告げ我々の希望を繋いでくれましたが、肝心の“希望の星”は何处かへ雲隠れ、期待は更に先送りされました。

この間、ハクセキレイやセグロセキレイ、ヒヨドリやツグミなど日頃おなじみの連中ともご対面を繰り返すうちに第二の感激に遭遇しました。開けた畑地にもぞもぞ動くものが・・・。双眼鏡を通して多数の小鳥が草の種や虫をついばんでいるのが手に採るように見える。

「アトリです」、長野リーダーが同定。茶と黒の縞模様は順光を受けて鮮やかに映えていました。雄のオムスビ頭は既に黒味を帯び、夏羽の様相を帯びています。カワラヒワも仲間入りして我々の存在など意に介さず一心に餌をついばむ姿に、小さい命の懸命さが窺われ何時までも眺め続けていたい心境でした。

我々観察者の心を和ませてくれたものの一つに「混群」があります。一般的にはメジロに始まりシジュウカラ、エナガそしてヤマガラと続き最後はコゲラで終わる一連のグループ移動です。食性が異なるため争うことなく仲良く森を移動していく習性に打たれました。

観察の旅も飛火野に至り、とうとうアオバトには巡り会えずに終わりました。しかし前出以外にも孤高のジョウビタキや頭上を掠め飛んだオオタカなど補って余りある『翼』達と巡り会えました。アオバトという『青い鳥』を捜し求める旅は、次回のお楽しみと言う事で如何でしょうか。リーダーの長野さん、有難う御座いました。

第5回東海自然歩道 自然観察会

砂山 昭子

2月11日(祝)シリーズ2回目。鳥見山公園(榛原~長谷寺)に再度参加。逆から歩くと、新鮮に感じます。眩しい太陽が久しぶりに暖かい日をありがとう。準備体操と今日の行程をくわしく聞いて出発。

下見の日は雪空で、今日とは違ってアニマルトラック(動物の足跡)等体験されたようです。今回もプリントで説明を受けて、想像がつかます。まず前回のシリーズで心に残っているものを考えてみると、植物ではモクゲンジ、高東城址のマツグミが気になりました。その近くまで行くとみな覚えていて、それぞれに観察の様子。前回は3月8日で1か月ほどの差ですが、少し成長が遅いようです。赤松につくのがマツグミらしく、青い細い実が見つかりました。

寄生木との違いは、ブナやエノキにつくところと他に見分ける法があるのかと考えてみました。

印象的だったのは樵(きこり)の老人に出会ったことと、オシドリを見かけたことにつきます。中ぐらいの杉の木に1本梯子をかけ、木の上と下に(紐をくくるだけで)軽々と登って、両手でナタやノコを使って枝を落としていきます。この作業も大変らしく下手にすると木の値打ちも変わってしまうらしく、手で触っても木肌に切れ口がきっちり収まっている。1日に何本くらい作業が進むのか、周辺には新しい切り口の木が並んでいます。太陽の光が入りやすい状態です。

鳥見山公園は人影もなく



、きれいな公園で、テーブルがところどころにあって、ゆっくりと昼食タイムになりました。温かいティのサービスを受けて、行程を進みます。

・ ・ ・ ・ ・ 初瀬ダム（マホロバ湖）が見えてきますと、いち早くK氏がオシドリを発見。でも他の人には見えません。回り込むところを進むと、向こうの方に見つかりました。1羽また1羽と20羽ぐらい真ん中へ集まって来てくれる。大感動で、双眼鏡を覗き込んで、時の過ぎるのを忘れたように見入っていました。まだ先を急がなくてはいけません。椎茸のホダに菌を打ち込んだのが道端に積んであります。菌の並べ方や方法は必要とする人には為になったことでしょう。川向こうから「チョットコイ」とコジュケイの声も聞こえます。

ロウバイを求めて、長谷寺に向かいます。香りも花も美しく、種類も数種あって、ここでは、ソシンロウバイ、トウロウバイがある。見分け方も教えてもらって、実地の体験は身につくことでしょう。

有意義な体験をありがとうございました。



「古事の森」のことなど

阿部和生

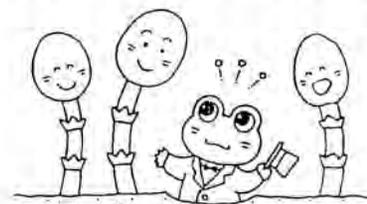
春日山地獄谷の国有林で3月6日に「古事の森」植樹祭が催されます。ヒノキやケヤキの幼苗の植樹が国民の参加の下で行われるのです。200年、300年と育て木造建築物の修復資材の供給を目指すものです。

私たちの国は、森林の国 国土の三分の二は森林が占めています。それでも大径木の用材となる木はとてとてと少ないのが現状です。西ノ京 薬師寺の新築された伽藍の用材は台湾から輸入されています。国内に適した木が見つからず、やむなくと かの名工 西岡常一氏は記しています。

戦後 経済の合理性が叫ばれ 森林もその波に飲まれてしまいました。森林の特性としての長い年月での考え方が軽視されたのです。木にとって20年や30年はあまりにも短いのです。「山三代」現在の木を伐らせて頂くのは先祖のお陰有難うございます と感謝の言葉を述べて伐採します。山の手入れは子孫のため 自分の植えた木がお金になるという考えではなかったのです。

GDPに換算されることのない 景観 森林の癒し 安心 豊かな水 などなどを貴重な天の恵み 自然の恵みと捉える時代が近づきつつあることを願うものです。

我が家の太陽光発電について



水田 美美子

シニア大の環境科に 2 年間に在籍中六甲の新エネルギーセンターや福井県美浜の原子力発電所などに見学に行き電力に関心を持つようになりました。それで 5 年前にけいはんな学研都市に新築する時太陽光発電装置を設置することにしました。

製品は 1 番早く「太陽光発電装置」に取り組んできた某社の単結晶シリーズにしました。南側の屋根が狭くて標準より少ないパネルしか設置できませんでした。

最大出力は 2,176kw (136w のパネル 16 枚) 価格は 1 枚が 101,250 円で計 162 万円

その他インバーター、屋内分電盤等で 合計 2,646,000 円

新エネルギー財団からの補助金が 778,260 円で 実費は 1,867,740 円かかりました。

5 年間の発電量は 10,332 k w h。 その内の 2,729 k w h を昼間無料で使用 (もしこれを買電したら 260,289 円の支払い) 残りの 7,603 k w を関西電力に売電 (売電金額は 191,545 円 25.19 円/k w h) 夜間や雨天の日の買電量は 7,510 k w h (買電料金は 154,610 円 20.59/k w h)

但し 買電料金には 2001 年 5 月から「関西グリーン電力基金」への寄付金 100 円を含む。関西電力の売電・買電料金は変動。

高い投資で元は取れませんが 発電をするようになって節電に努めるようになりました。太陽光のお陰で昼間の電気料金は無料なので 使い放題も出来るのですが売電量を毎月見るのも楽しみになり節電しています。

夫が研究畑の人間で長年の習性か 1998 年から 現在に至るまでの毎月のデータをそれも「色つきの棒グラフ」で作っています。それを見ると気象のことなど色々わかり面白いです。12 月から 3 月までは日射時間や晴天の日が少なくまた寒さの為に売電より買電の方が断然多くなります。春と秋は発電量が多くて使用量も少ないので売電量が多いです。熟年 2 人ですので若者ほど冷房を使いませんのでやはり夏も売電量の方が多いです。また気象により買電と売電が逆転する年もありました。今や発電装置は私たちの「高価なおもちゃ・並びにボリ防止装置」となっています。もし詳細のデータご希望の方がおられましたらご連絡ください。

森林間伐に参加しませんか。

込み合っている森林の中の木を適当に（いい加減ではありません）間引いて健康で元気のいい、美しい森林を作りましょう。

間伐をすることによって、地表に太陽光が入り、林床に下草や低木が生えてきます。そして残った木の成長が良くなります。

こうした森林は、表土が流れるのを防ぎ、保水機能が良くなり、きれいな水をつくりまします。また、生物の多様性にもつながります。そして、きれいな森林は心を癒してくれます。この他にも森林の効用ははかりしれないものがあります。

当会では、3月より森林間伐実習を始めます。（毎月 1、2回程度）

社会貢献行事としても大いに価値のあることと思います。

みんなで静かな森林の中で汗を流しませんか。

森林間伐実習

- 〔場 所〕 奈良市 忍辱山国有林（約1.5 篠）
〔日 時〕 第1回 3月12日（金） 11時20分
第2回 3月27日（土） 11時20分
〔集合場所〕 円成寺 駐車場 円成寺の門の向い側
バス停「円成寺口」と「忍辱山 円成寺」の中間位置
〔間伐場所〕 東海自然歩道を奈良「峠の茶屋」方向へ約10分 歩道左側 国有林
〔持ち物〕 鋸。ヘルメット（防災用）。手袋。長靴、スパッツ、地下足袋、のいずれか。鋸、ヘルメットは、当会にて多少は用意致しますので「有れば」で結構です。
弁当、飲み物。

〔間伐指導〕 奈良森林管理事務所

- 〔交通〕 奈良交通バス <柳生行>
JR奈良駅 近鉄奈良駅④乗り場 円成寺口 忍辱山 円成寺
8:26 8:29 9:01 9:02
10:40 10:43 11:15 11:16

集合時間は11時20分ですが、9時30分にはスタッフは駐車場におります。

早く来られる方はご参加下さい。

〔周辺情況〕

〔円成寺〕 庭園（国名勝） 楼門（国重文） 本堂（国重文） 厨子（国重文）
大日如来坐像（国宝） 白山堂（国宝） 春日堂（国宝） 等々。

〔湿地〕 水期の遺存植物とされるサギスゲを筆頭に、貧栄養の湿地や水域に特徴的な植物が見られる。

終了は3時頃の予定をしています。

〔担当〕 寺田正博

森林インストラクター

ネイチャーなら
奈良・人と自然の会
3月例会「野草料理と竹笛」

大海人皇子の吉野逃亡のルートになったとも言われている入谷には急な斜面に寄り添うように集落が集まっています。奥明日香の秘境を訪ねて「野草料理と竹工作」で早春のひとつときを過ごしませんか？

日時： 3月17日（水）9：30～17：00

場所： 明日香村 入谷（ニューダニ）

集合： 近鉄吉野線飛鳥駅 9：35（時間厳守でお願いします）

（近鉄阿部野橋発急行 8:50、大和西大寺発各停 8:47 橿原神宮駅乗換えにご乗車ください。駅前から明日香周遊・循環（かめ）バスで入谷まで移動します。）

飛鳥駅 9:39・・・健康福祉センター乗換え 9:50・・・入谷 10:20

入谷 15:40・・・健康福祉センター乗換え 16:35・・・飛鳥駅 16:47

持物： おにぎり、水筒、木工ナイフ、観察用具など

《連絡先》 樋口
豊島



ネイチャーなら
奈良・人と自然の会

第6回 東海自然歩道・自然観察会

弥生三月、東海自然歩道の自然観察会もコースの中間に入り、「花のみてら」長谷寺より三輪山沿いに三輪の大神神社に向います。玉列神社の金魚橋や慈恩寺の大ケヤキ等を観ながら気楽に早春の初瀬街道を巡ります。

〈コース名〉 ⑥ 初瀬街道（はせかいどう） [11 km]

〈日時〉 3月28日（日） 9時50分 集合

〈集合場所〉 近鉄長谷寺駅：改札口

・西大寺〔橿原神宮前行急行〕8：41発・・・大和八木9：06

・近鉄ナンバ〔奈良行快急〕8：34発・・・鶴橋 8：39乗換〔青山町行快速〕8：43発・・・八木9：15・・・桜井9：18乗換9：30・・・長谷寺9：38

〈行程〉 近鉄長谷寺駅～長谷寺～玉列神社～大神神社～JR三輪駅・・・近鉄桜井駅

〈参加費〉 参加費として10月から3月までの半期分：@200円を申し受けいたします。

〈担当〉 勝田均 寺田正博 弓場厚次



ネイチャーなら
奈良・人と自然の会

第7回 東海自然歩道・自然観察会

春うらら、やわらかな陽射しをあびて日本最古の大神神社から三輪山沿いを天理に向けて神話のストリート「山の辺の道」Ⅲを辿ります。満開の桜のトンネルをくぐり、大和三山を遠目に眺めて春の自然観察を行います。気楽にご参加ください。

〈コース名〉 ⑦ 山の辺の道Ⅲ [16 km]

〈日時〉 4月6日（火） 9時10分 集合

〈集合場所〉 近鉄桜井駅：北出口（北口バス②乗場：天理行バス）

・西大寺〔橿原神宮前行急行〕8：20・・・八木8：42

・近鉄ナンバ〔東生駒行〕8：16・・・鶴橋8：22乗換〔宇治山田行快急〕8：27発・・・八木8：57・・・桜井9：02発

〈行程〉 三輪明神参道口・・・大神神社・・・桧原神社・・・石上神宮・・・JR・近鉄天理駅

〈参加費〉 資料代等として10月から3月までの半期分：@200円を申し受けいたします。

〈担当〉 大寺道代 寺田正博 弓場厚次

「アースデイ'04 I N なら」応援スタッフ募集！！

日時：4月18日（日） 9：30～15：00
集合場所：県立ファミリー公園（近鉄樫原線）
演目：ヨシ笛・モックくん・蟬丸くん
持ち物：飲み物・雨具。 弁当は不要です。
担当・連絡先：樋口善雄

2004年企画会議（兼2月度定例幹事会）報告

1. 日時：2月2日（月）PM2：00～5：00
2. 場所：エルトピア奈良（奈良県奈良労働会館）
3. 司会：川井 書記：大石
4. 出席者：川井、樋口、寺田、弓場、小山、大寺、阿部、大石、境（オブザーバーとして）
5. 議事

今回は4月から始まる新年度の企画を中心にして、幹事会を兼ねて実施。

「報告事項」

- ① 会員動向 94名 会計報告 98,104円
- ② 東海自然歩道・自然観察会 第4回額井岳 参加者26名
- ③ 1月度例会 奈良公園自然観察と新春講演会 講師：河野猪太夫先生 参加者29名
- ④ 奈良市忍辱山 国有林間伐体験実習 土日1回と平日1回 3月より実施
- ⑤ いこま棚田クラブ（協働） 今回初めて子供中心の、大阪市都島エコクラブから子供10名、大人15名を迎え、実施。
- ⑥ 新入会員募集 進路説明会にてPRし、8名の入会希望あり。

「討議事項」

下記の三本柱を中心にして実施。 *各企画の日程等具体的なことは後日お知らせいたします。

- I；東海自然歩道・自然観察会（線の固定フィールドとして）*現行シリーズは10月まで実施。
- II；月次例会（花シリーズ、人シリーズ、道シリーズ、その他等として）
- III；社会貢献事業

- ・ 忍辱山「国有林間伐体験実習」開催。 (3/12(金)、3/27(土))
- ・ 黒髪山キャンプフィールド自然熟「工作教室」適時開催。
(4月～11月の土日、祝日でクラブと自然観察)
- ・ 県主催「県民フォーラム（環境フォーラム、水フォーラム、クリーン作戦）」参画。
- ・ なら生協主催「アース・デー2004 in なら」（4月18日）参画。
- ・ 近畿中国森林管理局主催「古事の森」参画。
- ・ 「生駒棚田整備事業」協働事業として参画。

(毎月第1,3,5(日)と第2,4(月))

編集後記：

斑鳩の里・竜田川にも春の訪れが。カワラヒワがさえずり始め、20羽ぐらいのイカルも“お菊二十四や月日星”と聞きなされる大きな声でさえずっています。ムクドリ、ヒヨドリ、ツグミなどもペアを作っています。あぜ道ではツクシがかわいい頭をまだ寒い風の中に出しはじめました。〈2月25日〉

編集担当：勝田 均

Tel&Fax:

奈良・人と自然の会事務所

会長 川井 秀夫